

スクラムセーブネット & オイルキャッチシステム

—— 営業、選定、取付の流れ ——

1. 事前準備

- グリーストラップ、ネットシステムについて資料に目を通しておいてください。

2. お客様先での営業

- グリーストラップ管理でお悩みのお客様先で現状の聞き取り、ネットシステムのメリット紹介。
- グリーストラップの状況写真撮影。

3. ホルダー選定

- グリーストラップの写真を基に採寸ポイントを指示致します。
- 指定箇所の採寸をして頂きます。

4. ホルダーの位置

- 選定したホルダーを設置して頂きます。
- 清掃方法をお客様に説明して頂きます。

1. 事前準備

以下の三つの資料に目を通してください。

- 資料「グリーンストラップって何？」
- 資料「清掃を怠ると・・・」
- 資料「スカムセーブネットとは？」

2. お客様先での営業①

グリーストラップの管理でお悩みのお客様先で、
グリーストラップの設置状況対象が取付不可物件でないか
確認したうえで、現在の管理方法※を聞き取りながら、
本商品を紹介してください。

※お客様の管理方法と現状パターンをご覧ください。

お客様の管理方法と現状パターン

お客様の管理方法	裏に潜む問題
グリーストラップの清掃はアルバイトに任せており、清掃はやらせている。 (どのような作業をしているか曖昧)	残渣カゴのゴミは捨てるが、浮いている油はホースで水を流しつつ混ぜてグリーストラップの排水を入れ替えている可能性。 水道の蛇口を全開にすると、1分間に21リットルの水が出ると言われています。 グリーストラップの水を入れ替える為に毎日30分も水を流すとすると、月に18,900リットル。 約19トンも水を無駄に使用している計算になります。上水道料金の他に、下水道料金が請求されます。
エアレーションを伴う装置を設置している。	オゾン、バイオ、酵素そのものは、油を分解する性質を持った物質ではありますが、グリーストラップの中で、全ての油を分解する事はできません。一番問題なのは、エアレーションです。 空気で槽内を攪拌する事は、せつかく、排水中に含まれた油を分離させ、せき止めた油をわざわざ、かき混ぜて、排水しているのと同様となっています。 装置を設置して何年かすると排水管がつまるなどの事故が起きる可能性が高いです。
バキューム業者に定期的に依頼している。	仮に3ヶ月に1度バキューム清掃を業者に依頼しているとして、 ゴミカゴのゴミはこまめに捨てているとしても、日々溜まっていく油はどうなるか？ 1カ月目、2カ月目の溜まった油は酸化し、表面は固形化し、ゴキブリも歩き回れる状態に。 溜まりに溜まった油はグリーストラップの許容量を超え、下側から公共排水に流れ出ていると思います。 グリーストラップの存在する意味が無い。 3ヶ月間、自ら汚く、臭く、害虫を呼び寄せるような物をお店の中に保存しているような状況。
毎日、残渣カゴのゴミは捨てて、油はすくって回収している。	完璧な清掃を行っている方です。しかしながら、浮いた油をお玉ですくうのは、大変な作業です。 すくった液体の油の処分も、産廃業者に出さなければならない。 作業自体も時間がかかり、産廃費用、人件費をどうにかしたいと考えるはずです。

取付不可物件

- 蓋は頻繁に開ける事が可能か？

蓋の上に什器が乗っていて開けられない。
大きく、重すぎて、2, 3日に一回の作業が
困難な物は取付不可です。



- 転落の恐れがあるような深さではない？

事故リスクの観点から設置はお勧めできません。



取付不可物件

- 2槽式のグリーストラップではない？

2槽式のグリーストラップの場合、
取付たネットが、排水口に吸い込まれる
可能性があるため取付不可です。



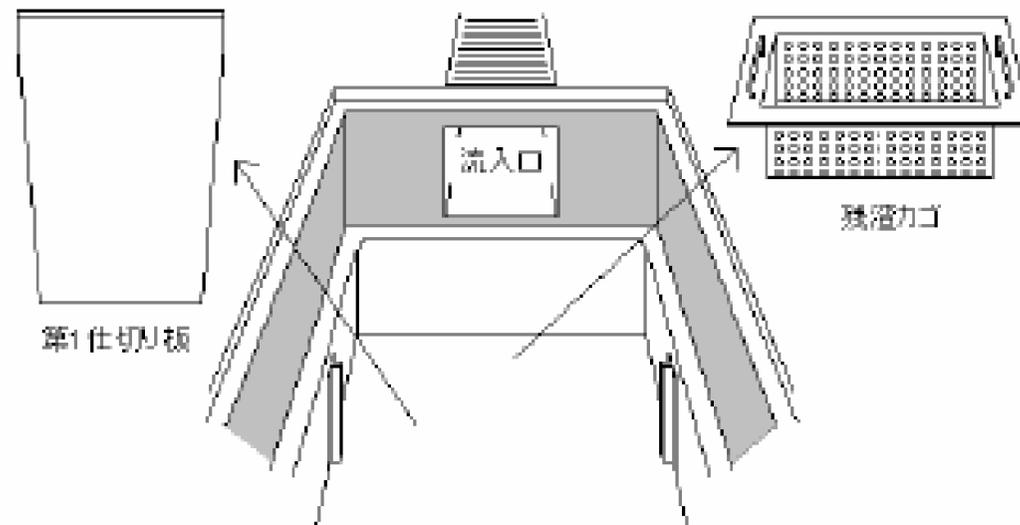
- 仕切り板は取れる？ 前方のカゴ枠がある？

取れない場合はご自分での取付は不可となります。
専門作業員の有償派遣が必要となります。



2. お客様先での営業②

- 設置を検討される場合は、グリーストラップの写真を撮ってください。
(今後のホルダー選定時の当社とのやり取りのムダを省くため)
- 残渣カゴ・第一仕切り板を外した状態で全ての流入口が写っている写真を撮影してください。



3. ホルダー選定

- **グリーストラップの写真を送って頂ければ、採寸すべき箇所を指定し、お知らせ致します。**
- **こちらの指定した箇所の寸法を採寸表に記入頂き、ご提供頂ければ、適切なホルダーを選定、発送致します。**

4.ホルダーの設置

- 資料「設置方法」を参考に取り付けてください。
- 資料「清掃方法」を参考にお客様にオペレーションを説明してください。